

■曾根干潟

最大干出面積500ha。
北部九州に残された
最大の干潟。

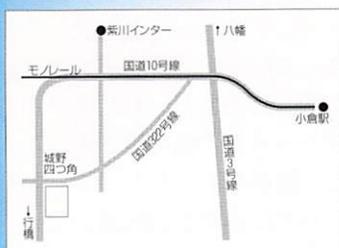
ズグロカモメが飛
来することで有名。
カブトガニ、トビハゼ
等を含めその豊かな
生物相は日本国内だ
けでなく、世界からも
第一級と認められて
いる。



みなさんといっしょに環境
や社会の問題を考え、紙
面を作っていきます。

東風

●発行日
2000年8月8日
●発行所
小倉東総合法律事務所
●編集者
荒牧 啓一
●連絡先
〒802-0062 北九州市小倉北区
片野新町2丁目12番21号
朝日センタービル2階
TEL093(932)5575
FAX093(932)5600



暑中お見舞申し上げます

高校時代、担任の教師が「僕の夢は長生きして21世紀を迎えることだ」と英語の授業の合間に話していたことを思い出す。

まだ若く、当然21世紀を迎えることができると考えていた私は、只、そんなものかなあと聞いていた。

21世紀をあと半年後に迎える現在、既に故人になられた恩師が、夢みていたような輝いた希望に満ちた21世紀を迎えることができるのだろうかと思う。

不況が続く、会社の行く末も分からない。子どもの学校ではいじめが横行しており、ニュースを見れば信じられないような事件が次々に起こる。選挙が終わっても、国民の真意をわからない与党に政治不信も募る一方である。

私達は、これからどうなるのか、世の中一体どこへ行くのか、そんな先行不透明な時代といえる。

しかし、偶々、幸運にも21世紀を迎えることができる私達としては、手を拱いているわけにはいかない。少しでも人間として豊かに生きられる社会を実現するために、学校で職場で地域社会でがんばっている人達に依拠し、手を取りあって生きていきたいと思う。

1年半前に新事務所を開設して、それまでの経験をいかして地域にそして社会に少しでも貢献できる事務所を目指してがんばってきたが、どうしても現在の事件の処理に追われてしまう。新しい世紀、新しい時代を迎える現在、もう一度原点に戻って希望ある未来への道を歩きたいと思う。

そして北九州の小倉東の地から東風に乗せてそんな活動の便りを送れたらいいなと考えて創刊しました。いつまで続くか不安ではあるが、とにかく始めなければ積み重ねもできないのだから。

生きている化石 カブトガニ 曾根干潟でウォッチング

「カブトガニ」を知っていますか？
そう、甲羅が兜みたいになっている
節足動物で、「生きている化石」と
いわれるだけあって、1億5千年前
の化石が発見されているすごいヤツ
です。このカブトガニが北九州市に
は生息しているのです。

「曾根干潟」は一般にはあまり有
名ではないけれど、ここにカブトガ
ニは生きているようです。

こいつを見てみたくて、日曜日の
朝早く干潟に行ってみました。「朝
のカブトガニウォッチング」この文
句に誘われて。

6月～7月頃、カブトガニはつが
いで曾根干潟の砂浜に産卵にやっ
てきます。カブトガニは雄の頭が雌の
甲羅にぴったりくっつくようになっ

ていて、雄が雌の
上の上ののって産卵
にくる。「太古」
のむかしからずっ
と…。仲がよくて
うらやましい！？
そんなことを考え
ながら、ぼうっと
干潟を見ていると、
ひさしぶりにゆったりした気分にな
りました。

しかし、「2年連続で見られな
かったあなたもあきらめず…」とい
う文句が少し気になってはいたのです
が、やはり簡単にはカブトガニに会
うことはできませんでした。今回は潮
の満ち方が不十分(?)だったそう
です。



●カブトガニ

「生きている化石」と言われ、
1億5000万年前の化石が発見され
ている。世界で4種。北アメリカ
東海岸一帯、アジアの東南のみに
生息している。

日本では瀬戸内海と九州北部。
10年前後で13～15回くらい脱皮
して成体になるといわれている。



て注目されているそうです。

でも、干潟の土手は護岸工事でコ
ンクリートの壁になり、砂浜は本当
に猫のひたい程になっています。そ
して沖合いでは新しい北九州空港を
造るための工事が行われています。

ここに「カブトガニ」が生息して
いること自体、奇跡と言えるのかも
しれません。

来年は一緒にカブトガニの夫婦を
見に行きませんか？

食用になるほどたんさんいた 国内でも貴重な生息地があぶない

カブトガニは現在は天然記念物に
なっていますが、地元の人々は昔はよ
く食べていたそうです。「太古の夢」
「生きている化石」を食べるなんて…。
しかしそれは、ちょっと前までは食

べるほどたくさんのカブトガニが生
息していたということのあかしでし
ょう。

今では、曾根干潟は国内でも数少
ない重要なカブトガニの生息地とし

これを書いている時、島根の中海
の干拓が中止になると新聞に出てい
ました。又、全国の干潟保護運動を
リードしてきた山下弘文氏の訃報を
耳にしました。「白島石油備蓄基地
の訴訟」で助言をいただき、酒を飲
みながら干潟の話の聞ききました。心
よりご冥福をお祈りしつつ、わたし
たちもその遺志を引き継いでゆきた
いと思います。

【事務所周辺ナビ】

駐車場

福岡銀行城野支店の手前の路地(鍵屋さんの角)を左折し、少し行くとフェンスで囲まれた「朝日興産第6駐車場」があります。その5,6番が事務所の専用駐車場です。

時間調整や帰りにちょっと休憩

斜め向かいの「喫茶 サンファン」お昼は 日替わり定食 600円。その他、カレー、サンドウィッチ等軽食も豊富。事務所でもよく利用しています。

事務所の上(3階)は実は税理士事務所です。

少し離れて三萩野周辺

虎屋のぱん 三萩野交差点。1個30円の手作りドーナツ専門店。早朝から営業。午前中には完売する人気だそうです。

黄金市場 いまどき珍しい活気のある市場。珍しいところでは唐辛子専門店等もあります。

おかずやさんには夕食の一品、お世話になってます。

information
information
information

新

鮮

情

報

【書籍】

「ナキウサギの声がききたい」



定価2200円
一ナキウサギふぁんくらぶ
会員募集中一

ぼくは氷河期の生き残りといわれるナキウサギです。北海道の大雪山などの澄んだ冷たい空気の岩場で何万年も前から生きてきました。

ところが、僕たちのすみかがトンネルや道路を造るために壊されそうになりました。それを知った様々な人たちによって、「必ずみんなで守ってあげるからね」と1995年「ナキウサギふぁんくらぶ」が作られ、翌年、工事差止めをもとめ提訴。そして3年。ついに自然環境を壊す高原道路の建設は中止されました。

そんな僕たちと仲間達の悪戦苦闘物語を、ぜひ、読んでみてください。

事務所にて取扱中。

みなさんの暮らしの知恵やお勧め情報などを教えてください。

【伝言板】

日中友好協会主催 「中国吉林省民族楽団」コンサート

胡弓ってごぞんじですか？

三味線を小さくしたような形の、両膝の間にたてて演奏する擦弦楽器で、微妙なピブラートが幻想的でせつない音色で、おもわず引き込まれるすてきな楽器です。

今回、来福する楽団は中国四大国立民族楽団のひとつで、民族性豊かで情熱あふれた演奏会になると思います。事務所でチケット取扱中です。

9月25日(月)
開演19:00
小倉市民会館
前売2500円



荒牧弁護士との出会い

弁護士は人生のパートナー

シーサー館館主・那覇市観光大使
宮村 みつお



荒牧さんとの出会いは、今から13年前の1987年、桜のつぼみが「そろそろ私の出番よ」と声を出し始めている頃であった。

小倉北区中井口にある九州工業高校(昨年よりイメージ新たに新颯館高校に改称)で起きた「アルバム問題不当解雇・停職事件」がきっかけであった。当時、組合執行部が学園理事管理職と癒着しての解雇・停職事件だけに、一般の組合員というか教職員は「こんなことでクビになるなんて許されない。学園に教育と正義と道理を…」etc

しかし、不正義への怒りや気持ちはあっても、どう闘っていいものやら藁をもすがる思いで弁護士事務所のドアを叩いたのを覚えている。そこで出会ったのがドラえもんのようなおらかであったかい顔をした荒牧弁護士であった。

事件の詳しい内容は原稿字数の関係上、ここでは割愛するが、事件の真っ只中書記長になった僕は、よく弁護士事務所に顔を出していた。

事件の2ヶ月後に仮処分決定勝利、2年後地裁判決勝利、

その1年2ヶ月後の高裁判決勝利。完全勝利の中で事件は解決し、先生達は教壇に復帰した。学園管理職に対し裁判所の「組織の長としてあるまじき行為」という言葉は強く印象に残っている。

この事件を通じて僕自身を含め多くの教職員は弁護士のすばらしさなどたくさんを学んだと思う。停職を受けた一人は「この事件で俺はワープロがバリバリ打てるようになった」といい、今では家庭と学校をつなぐ学級通信でその腕を奮っている。解雇を体験した組合のクの字も知らなかったA先生は、人前でとうとう組合論を述べている。M先生は不当な処分事件などで悩んでいる人達の助言や活動で今もがんばっている。

世間から笑われても誉められる事件ではない事件を通して、たくさんの心ある人達と出会うことができた。僕自身、その後の人生に大きなプラスになったように思う。荒牧弁護士との付き合いは今も続いている。弁護士はフレンズというか、人生のよき相談役というのが僕の今の思いである。弁護士という仕事の大変さ、その中でも弱い立場、庶民サイドで奮闘する弁護士。そんなよき弁護士と出会うと人生は何倍か楽しくなるように思う。

そうそう、荒牧弁護士は僕と同じ49歳。荒牧さん、これからも人生のパートナーとして長いおつきあいどうぞ、よろしくね。